



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2640



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

夢をかたちに

CONTENTS



2008-09 年度 R I 会長
李東建



ガバナー 勝野 露観

1. ガバナーメッセージ	1~5
2. 職業奉仕によせて	6~8
3. 米山月間によせて	9~10
4. 〃	11
5. クラブ委員長会議報告	12~17
6. ごあいさつ	18~19
7. 新入会員紹介	20~21
8. 訃報	22
9. ポールハリスフェロー・米山功労者（8月分）	23~24
10. ハイライトよねやま	25
11. ロータリー文庫	26
12. 出席報告（8月分）	27
13. 10月行事予定表	28

10月は職業奉仕月間・米山月間
(Vocational Service Month)

2008-2009

10
NO.4



国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁2-3 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640 FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2640地区
ガバナー 勝野 露観

本年は温暖化現象のせい、いつまでも暑い日が続いておりましたが、ようやく秋の気配が色濃くなってまいりました。先月は本当に様々な問題が吹き出して来ました。食品問題、サブプライム関連問題などがその筆頭です。そして依然として年金問題が、何ら解決の方向に向っての対策が政府によってとられず、隠されていた、職員による意図的詐欺が白日のもとに露見され、闇は深まるのみです。信賞必罰は法治国家の当然の掟であります。悪事は断固として刑罰に処すると云う信念無しで、どうして政体の安寧を保たれましょうか！頭のみをすげ替えれば良いと云う処置では何ら本質的解決になりません。職員の意志改革を強力なリーダーシップで変換させる事をしなければなりません。これらの問題に共通の事は、携わっておる人々の「責任感の無さ」「無責任さ」です。「論理観の無さ」です。自分の携わる職務、職業に対する観念の問題です。「自分の仕事、職業を何とっておるのか？」ただ自己の利益、自分の欲得のみを考え、関係する人々の本当の幸福を考えていないのです。

今月は職業奉仕月間であります。職業の持つ意味を徹底的に考えてみようを云う月です。

職業奉仕はロータリーの最も大切な教えの一つであります。今回は、この事について考えたと思います。

ロータリーの綱領はアメリカの最高の良心の現れであり、最高の理想であり、最高の理想的経営者、トップの姿であります。最上最善のトップリーダーは、職業をどのように見、どのように考えているのかについてのステイットメントを記述したのが、職業奉仕宣言であります。

(I) 職業奉仕 (サービス) Vocational Service

Basic Principles of Vocational Service

Statement on Vocational Service

職業奉仕と云う日本語に於る奉仕と云う言葉は、正直言って良い翻訳ではありません。奉仕は仕えたてまつると云う意味を含み、上下関係を意味の奥に持つ日本語です。Service はあくまで神に仕えたてまつると云う意味を持つ言葉であって、神に対する敬意を奥に持っています。よって Service は「人々に喜びを与える！」「人々に喜んでもらいたい！」と云う意味に考える

可きです。つまり職業 Service（奉仕）は職業を云う、一つの生きる手段は、生きるための手法は、人々に喜びが与えるのが職業の持つ本来の価値であり、職業は人々に喜んでもらいたいと云う気持ちで取り組む可きであると云う事を表現した言語なのです。

ロータリーに於る職業は Vocational であって、Occupation でも Business でも Work でも Profession でも無いのです。あくまで、Vocational なのです。何故 Vocational と言って、Business と言わなかったのか！？何故 Professional Service と言わなかったのか！？をよく考えて下さい。先ずそれぞれの意味を考えましょう。Business は「利益を主とする仕事」であり Profession は「知性を主とする仕事」、Work は「内何を使用してする仕事」、Occupation は「占領、占有を主とする仕事」であります。

Vocation

- ①先ず第1に「神のお召しによる宗教生活」と云う意味です。
 - ②次に「天職」「使命」です。
 - ③「職業、家業、商売」
- 以上3つの意味を持つ英語であります。

つまり、ロータリーで言うところの職業奉仕の職業は、日本で言うところの天職であり、人々の幸福を祈る心、人々に幸福になってもらいたいを云う強い使命感をもって仕事に取り組み、仕事を通して人々に喜びを与えんとするのです。自分の仕事を天職だと思える程にレベルアップする事が、まず何よりも大切なのではないのでしょうか！経営済民は経済の本質であります。民を済う云う意味です。最高の経営者、トップリーダーは、その従事する職業を通して人々を幸福にするのです。人々を不幸にする経営者、リーダーは真実のリーダーとは言えません。Vocational Service は最高の経営者、トップリーダーの経営手法なのです。

Vocational Service（職業奉仕）の Basic Principles

◎職業奉仕の根本的原則（基本原理）

職業奉仕宣言（Statement on Vocational Service）

Vocational Service is the manner in which Rotary fosters and supports the application of the idea of service in the pursuit of all vocations.

職業サービス（奉仕）は生きる上での1つの手段手法なのですが、ロータリーは、仕事をす
る中に於て「人々に喜びを与えんとする思いと考え」を（常に）持って仕事に取り組むように、
人々にお願いし、頼んでいるのです。ここにあるところの奉仕の理解（the idea of service）は
あくまで Service の考え思いであって、理想と云う訳語はおかしいのです。

◎道徳的、論理的側面をしっかりと見つめる事！

①「一切の（天職と呼ばれる）職業に於て最高最上の論理道徳基準を固く守り、信奉し、人々に奨励する事です」

この事の中には、以下のことを含んでいます。

イ. 雇主や同僚に対しては「誠実」(faithfulness)で「忠実」(fidelity)である事
ロ. 雇主や同僚に対して、公正(fair)に接すること！競争相手、一般の人々、取引関係、職業上の関係ある人達に対して公正(fair)に接すること

職業上、仕事上、最も大切にすべきは、「公正」(fair treatment)な取引である。

◎職業奉仕(Vocational Service)はクラブ並にそのメンバーの責務であります。

ロータリアン個人並にロータリクラブに於て職業奉仕は守る可き責務があるのです。

そして

◎クラブの役割はこの職業奉仕の目的を実践に移し(その重要性を)人々に奨励する事なのです。常時デモンストレーションをしたり、クラブ自体の様々な活動にこの職業奉仕の考えを適用し、クラブのメンバーの持つ職業上の能力を社会に貢献するようなプロジェクトを考え出したりする事なのです。

◎ロータリアンの役割は、ロータリーの原理掟(Rotary Principles)にのっとり自分自身を正しく処し、自らのビジネス並に専用的職業を品位をもって処する可きであります。そして、クラブの創造したプロジェクトに従事するように！

つまり、仕事(職業)は世の中の為になる有益なものであって人々に喜びを与え人々の幸福をもたらす可きものであります。この考えをもって仕事をしなければならないのです。さて！皆さんの仕事はどうですか？世の中に必要な有益で有用な仕事になっていますか？人々に喜びを与える仕事でしょうか？

一切の仕事、ビジネス、取引に於て、最も大切にすべき且つ人間的忘れてはならぬ道義上の掟、道徳的基準は「公正」(fair treatment)です。

「公正」とは「公(おおやけ)の観点から見て正しい」ことです。正しい判断、公正な考え方です。人の上に立つ人間、リーダーは何よりも公正の観念を持たなければなりません。日本人は「信用」と云う商売の道徳(性)の中に、この公正を含めて考えておりました。

②仕事(職業)の価値について、認識を深める事

(自分の従事している仕事が世の中に於て如何なる存在価値をもっているのか！？と云う事です。)

ロータリアン個人或いはすべてロータリアンが従事するあらゆる(世の中に)有益な仕事の社会に対する価値を(よくよく)認識することです。

自分の仕事が世の中に有益であることが社会にとって大切な存在価値のある仕事となるのです。社会に価値の無い有害な仕事であってはならないのです。

③社会貢献(の大切さを深く認識すること)

ロータリアン個々のメンバーは職業(天職)上の能力手腕才能を世の中の様々の問題、トラブル、要求に対して寄与し、貢献するようにしなさい。

以上職業奉仕宣言について考えてみました。ロータリアンの皆様は各業種の代表者の方が多いのですから、自分達の仕事に取り組む際には、この職業奉仕の心をよく理解して服膺して下さい。

(II) 米山問題について

この米山奨学会は日本独自の財団であって、各国に無い独特のものです。日本で最初にロータリークラブを設立した東京 RC の米山梅吉氏の遺徳の記念事業として戦前戦中にかけて第二次大戦に於て多大なる損害をかけたアジアの国々に対する懺悔の意味もあって米山基金をつくられたのです。確かにその効果はありまして、日本を知る若者がアジアの国々に増加し、知日派と呼ばれる人々が一定の割合で確かに存在しています。日本は今迄その視点はアメリカ、ヨーロッパの先進諸国ばかりに向いていて、アジアの一国でありながら、その興味関心の対象はアジアにほとんど言っても良い程、向いてなかったのです。米山奨学生として日本に来日するアジアの学生を通じて、私達はそれぞれの国の実情を知る事が出来るのは実に有意義なことです。ただ1つ問題があります。小さくなるのでは無く大きくなるばかりなのは、奨学生の中で中国人の占める割合が圧倒的に多い事です。何故、中国人ばかりを世話しなければならないのかと云う不満の言葉をよく耳にしますが、全く私も同感であります。これは大きな火柱を含んだ問題であります。

中国人の事はさて置きまして、米山自体は実にすばらしいプロジェクトです。彼等はアジアと日本のかけ橋になってくれるでしょう。ぜひとも皆様のした協力をお願い致します。

(III) 広報の重要性について

2640 地区の各クラブの会長さん宛に、私から直接した願い状をさし上げました。

このたび広報担当の川村委員長の懸命なる精進努力によりまして、産経新聞との共生関係が出来上がりました。勿論、産経新聞のみをあたったのではありません。朝日新聞はロータリーと云うトップ階級の団体を好んでいませんし、毎日新聞とはなかなかルートが開けませんでした。読売は関東系の新聞であって、関西に住む我々とはあまり縁の無い存在になっております。その点産経新聞はロータリーに対してよく御理解をいただいております、喜んで我々のプロジェクトに賛同して戴きました。ロータリーの宣伝ならばおそらく 1000 万円は必要となるプロジェクトですが、広報でありますので産経新聞は記事として取り上げて下さいます。今回は 12 回シリーズでロータリーを広く世間に知ってもらう為の紙面作りを計画していますし、既に取材は開始されています。第 1 回は「ロータリーについて」でガバナーと平原直前ガバナーが取材を受けています。

今迄のようなクラブ紹介ではありません。ロータリーを広く世の中に知らしめんとする企画です。ロータリーは今迄、各クラブに於て素晴らしいプロジェクト奉仕活動をしてまいりました。しかし、その素晴らしさを知っているのはほんの僅かの限られた範囲の人達ばかりであります。奉仕活動に情熱をもって取り組んでいるロータリアン達はただ淡々と自己の信ずる事を信念をもってやって来たのです。しかし、世の中は、その大部分は「ロータリーとは金持の集る社交団体で遊びの団体」だと考え更に口の悪い人には「ロータリーは金持ちの暇つぶしの団体で、趣味でボランティアをしておる」とのたまっておるのです。こんな状況に日本のロータリーは在るのです。これでは駄目です。広く世の中の人々に、ロータリーの素晴らしさを伝えていかなければなりません。今年度の私の地区方針に於て「広報の重要性」を取り上げております。ぜ

ひとも御協力下さらん事を伏して御願ひ致します。

〔産経新聞との取り決め事項は〕

ロータリークラブ（1クラブにつき）

①産経新聞を購読すること、1部 3ヵ月 12,000

（最初は3部でしたが1部になりました）

②維持管理料

記者の取材費、雑費、etc. 12,000

新聞掲載の効果は非常に大なるものがあります。先ず第1にその紙面をお読み願えましたなら、皆様の御家族のロータリアンに対する見方が相当変わる事だろうと思います。そして、その紙面の話しをきっかけにして御家族の皆様に理解して戴いたならば、皆様に対する御家族の評価は高まること間違いないと確信しております。



職業奉仕月間によせて

職業奉仕委員長 角谷 浩二

昨年度の RI 理事会で「決議 23-34号」が廃止されました。非常に残念ではありますが、しかし会員の皆様方の中にはこの決議が何故重要なのか、何が書かれているのかを知らない会員もいるのではないかと思い、解説の意味をこめて書かせていただきました。

『決議 23-34号について』

「決議 23-34」は手続要覧では社会奉仕の部で書かれております。しかし、社会奉仕のみならず、ロータリー活動全般にわたっての基本理念、奉仕哲学が書かれたもので、そして、それを突き詰めていくと「ロータリーの奉仕とは何か」ということになります。この1923年の決議 23-34号（セントルイス宣言）の内容は6条に分かれており、6条目にはクラブとして団体奉仕活動をする場合の指針が7項目に分かれて示されております。非常に重要な決議文ですが少々難解な文章もありますので簡単に説明させていただきます。

第1条、ロータリーの思想。

この第1条を要約すれば、「ロータリーは利己の心（自分を最優先にしようと思う心）と利他の心（他人のために尽くそうと思う心）とが互いに葛藤を繰り返している。その葛藤を和らげるのが、奉仕哲学である“Service above self”（超我の奉仕）と職業奉仕実践理論である“He Profits Most Who Serves Best”（最もよく奉仕する者には、最も多く報われるである）」と記されております。この決議文において、ここが一番難解な点で、これを理解するには、決議文が採択された当時のロータリー内部の状況を理解する必要があります。この決議文（原文）が示された時期はロータリー運動において、ポール・ハリス、アーサー・F・シェルドンが唱える職業奉仕を基礎とする理論派と、エドガー・アレン（エリリア RC）を中心とする人道主義的活動派（身体障害者問題）が互いに主張しあい、ついには全米のロータリークラブを巻き込んだ大論争が繰り広げられ、ロータリー自体がどうにもならない混乱状態に陥った時期でした。この身体障害者問題というのは、当時アメリカではポリオが大流行し大きな社会問題となっておりました。エドガー・アレンは個人でのポリオ救済活動よりも、組織としての障害児救済活動をめざしエリリア RCに入会いたしました。彼は自クラブだけではなく、近隣クラブにも応援を求め、RI に対し、全てのロータリークラブが一丸となって身体障害者問題に取り組むよう要請し、1922年のロサンゼルス国際大会で障害児救済活動決議案（決議第17号）を採択させることに成功いたしました。ところが、これが大論争の火付けとなったのです。理論派の主張は、「ロータリーは職業人、実業家の組織であるから職業上の問題に力を注ぐべきであり、社会問題に

は関心を寄せるだけでよく、言論的唱導機関であるべきだ」「各クラブはそれぞれ完全な自治権を持っており、他からあれこれ指図されるいわれはない」「ロータリーは個人奉仕が主体で、このような問題には直接関与すべきではない」という意見です。しかし、人道主義的活動派の主張は、「今、アメリカではポリオが多発し大きな社会問題となっている。この重大事において個人よりも全米のクラブが一丸となって身体障害者の救済をしなければならない。このような社会的な大問題に直面しながら、言論的唱導機関などと言って逃げるのは卑怯な責任回避である。単に口先だけの問題ではなく、実践的且つ金銭的活動が必要であり、団体的活動も必要である。」と主張し、互いが一步も引かず、分裂の危機に瀕しておりました。そこでロータリーは奉仕の実践についての「個人奉仕か団体奉仕か」に関する明確な方針を示さなければならなくなったのです。ここにおいて、分裂を回避すべき救世主として現れたのがテネシー州ナッシュビル RC です。このクラブは 1923 年のセントルイス国際大会において、この混乱を沈めるための回答というべき決議案（決議 34 号）を提出いたしました。これが即ち決議 23-34 です。この決議文第 1 条において“Service above self”「超我の奉仕」と“He Profits Most Who Serves Best”「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」が「ロータリーにおける二つのモットー」であると明示しております。私たちが人間として、弱者に涙しながら、人道的奉仕活動をすべきだという社会奉仕のモットーが“Service above self”です。そして、品物や技術を通じて社会に奉仕するために職業を営み、その見返りに利益が得られるという職業奉仕のモットーが“He Profits Most Who Serves Best”です。この二つのモットーの意味するところは、「人道的救済活動、つまり社会奉仕だけがロータリーではなく、また職業奉仕理念だけがロータリーでもない。それぞれが互いに協力し合いながら活動するのがロータリーである」。ということの意味しております。つまり、ロータリーは決して一枚岩の思想ではないということです。ロータリーには古来より色々な思想が混在し現代に至っております。しかしロータリーは、『それぞれが互いの思想を排除することなく、いつも「寛容の精神」をもって、自分とは違う思想の存在を認めあい、そしてお互いが学びあわなければいけないのである』ということをこの第 1 条で宣言しております。この第 1 条で行動派と理論派の主張をそれぞれ認めることにより論争に終止符をうとうとしたのです。そして、第 2 条以下は、クラブと RI との定義とそれぞれの役割、奉仕の実践に関する詳細を定めることにより、理論派と人道主義的活動派、双方の主張をかみ合わせ分裂を回避したのです。

第 2 条、クラブの役割。

(1) 例会において会員全員で奉仕理念を学ぶ。(2) 地域社会において奉仕の実践例をクラブとして示さなければならない。これは奉仕の実践は個人が行うのが原則ではあるが、サンプルとしての実践例をクラブで示さなければならない。(3) 会員は個人として奉仕理念を実践に移さなければならない。(4) ロータリーの奉仕理念を一般の人々に受け入れてもらわなければならない。それには社会のニーズにあった実践が必要であり、ロータリアンだけが満足するような実践であってはならない。

第3条、国際ロータリーの役割。

(1) R Iは奉仕理念の育成、普及をしなければならない。(2) R Iはクラブの拡大、援助、管理をしなければならない。(3) R Iは情報の相互伝達、クラブ運営の標準化をしなければならない。この3つがR Iの主な役割であると記されております。しかしR Iは奉仕活動の実践例を提案することがあっても、「強制ではなく有益な助言を与える」と記されているように、R Iは奉仕活動の実践を押し付けることはできません。奉仕活動の実践はクラブ自治権の範疇にあり、R Iが提示してきたものを必ずしも実践しなければならないという義務はありません。クラブの「CLP」実践においてもR Iや地区が強制するものではなく、クラブに決定権があるのであって、実践するのもしないのもクラブの自由です。

第4条、ロータリーの奉仕とは何か。

これは口先だけの理論ではなく、ロータリアン個人も又、クラブとしても奉仕理論は行動をもって実践しなければならない。継続的奉仕活動以外の奉仕活動は当該年度内に終了するものが望ましい。そしてそれは地域ニーズに合った奉仕活動であり、クラブ会員全員の参加でなくてはならない。

第5条。ロータリークラブ自治権と国際ロータリーの関係。

ロータリークラブはR Iの定款、細則、綱領、クラブ定款に違反しない限り絶対的自治権、自主独立性を持ち、自由に活動を行なうことができる。R Iはクラブ自治権に対し、制約や禁止事項を設けてはならないことが明記されております。しかし、そうだからといってクラブが身勝手に行動するのではなく、R Iからの指導や助言、他クラブの実践例を謙虚に学ぶ姿勢を持たなければなりません。

第6条。ロータリークラブとしての社会奉仕活動に対して守るべき指針。(1) ロータリーは地域の商工会議所等において地域のニーズを調べる必要がある。しかし、既にそのニーズの専門事業団体があれば邪魔や横取りをしてはならない。(2) 奉仕事業においてクラブがその全責任を負わなければならない。(3) 奉仕活動を個人及びクラブの宣伝活動にしてはならない。しかし、地域社会に対して、ロータリーの精神を認識してもらい、それを拡大する方法として、有益な奉仕事業においてはクラブとしての実践例を広報しなければならない。(4) 他の団体との重複活動の禁止。(5) 現存している奉仕団体への協力。(6) その地域に即した新しい奉仕活動を開拓し、その活動に従事する専門団体を育成し、なるべく早い段階でその団体に活動を委譲すべきである。そして、その功績を自分の手柄にしてはならない。(7) 団体奉仕よりもロータリアン個々の力を発揮できる奉仕活動をすべきであり、それはロータリアン個人に奉仕の訓練を施すためのものである。

以上が決議23-34の説明です。1923年のセントルイス大会で採択されたこの決議文は、その後、幾つかの修正を加えられながら手続要覧では「社会奉仕の部」に乗っております。しかし単に社会奉仕の指針にとどまらず、ロータリーの基本理念、奉仕哲学が記されたものもあります。

米山月間に寄せて



米山記念奨学委員会 委員長 米田 眞理子



地区会員の皆様におかれましては、平素より米山記念奨学委員会にご理解ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

(財)ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給し支援する、事業規模と採用数において日本の民間最大の奨学団体です。1952年に“日本ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念して、東京ロータリー・クラブが、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め国際親善と交流を深めるために、優秀な留学生を支援し世界平和の創造と維持に貢献することを目的とした「米山基金」の構想を立て、日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがてそれは、日本全国のロータリー・クラブの共同事業となり、現在では日本ロータリー独自の「多地区合同奉仕活動」となっています。

目的

ロータリー米山記念奨学会は将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学する事を目的としています。優秀とは①「学業」に対する熱意や優秀性は勿論の事②「異文化理解」③「コミュニケーション能力」への意欲に優れている点が含まれます。

特長

奨学金による支援だけでなくロータリー・クラブによる世話クラブとカウンセラー制度があります。米山奨学生は、毎月1回世話クラブの例会に出席しカウンセラーやロータリー・クラブ会員との心のふれあいを通して真の国際・文化交流及び相互理解を深め、ロータリーの奉仕の心を共に学びます。

寄付金速報—今年度も好調なスタート！—

2008-09年度が始まって3カ月経過しました。直近の情報では7月の寄付金は約2億2千万円で、前年度に比べて1.4%増、約3百万円の増加です。普通寄付金が2.0%増、特別寄付金が0.2%減と、普通寄付金の納入が良好な滑り出しとなりました。今年度の予算目標額は、前年度と同じ14億5千万円です。今後も、日本のロータリアンが誇りとする米山記念奨学事業発展のため、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

2009学年度の指定校が決定！募集開始！

2009年4月採用の奨学生を推薦してもらう指定校が、各地区米山記念奨学委員会からの報

告により決定しました。指定校は全国で 432 校（前年度 408 校）です。

大学・大学院以外を対象とする「地区奨励奨学金」を導入したのは 7 地区 11 校で、6 校が初めて指定校に選ばれました。また、学校が推薦者を選考する際の「選考の目安」を提示した地区は 25 地区で、「1 カ国の割合は〇%以下に」といった「国籍割合への配慮」を望む声が 21 地区、「日本語運用能力」を求める地区が 16 地区と多く挙げられました。このほか、できるだけ多くの奨学生を支援するため、奨学期間が 1 年間となる「最終学年在籍者」を望む地区が、昨年度の 8 地区から 10 地区に増加しました。

【今後のスケジュール】

- ・ 8 月 15 日 当会HPに指定校・募集要項公開中 <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
- ・ 10 月 15 日 申し込み締め切り（米山記念奨学会事務局で書類チェック後、申込書類を各地区へ発送）
- ・ 12 月～1 月末 各地区選考試験実施、決定順に合格発表

2640 地区は地区にあるすべての大学を推薦枠にしています。今年度 8 月と 9 月にカウンセラー補佐・委員長・委員が各大学を訪問し、基準をご理解いただくべく担当者と面談して回りました。その折、生じた問題点を委員会で検討し選考に役立てたいと考えております。

ちょっと新しくなった『豆辞典』が登場します

毎年好評をいただいている米山月間資料、『米山奨学事業・豆辞典』を今年も発行します。今年は、昨年度から縦長サイズにリニューアルして好評だったサイズで登場します。この『豆辞典』には、米山奨学会の財政や、いただいた寄付金の使途、新しくなった表彰制度や米山学友の情報が掲載されています。持ち運びに便利なポケットサイズの『豆辞典』は、会員の皆さまへの理解促進に必ず役立ちます。10 月の米山月間にはぜひお使いください。9 月中旬に全ローターリー・クラブに送付いたしました。

2008 年 9 月 24・25 日 米山奨学生（学友生）と、参加ご希望の米山カウンセラーの皆様方と 1 泊 2 日で高野山・龍神温泉・田辺方面を訪問。10 月には世話クラブでの卓話、そして社会貢献活動として昨年を引き続き、地元高校生との国際交流授業に参加致します。当地区の米山奨学生は多方面で活躍して戴いています。

今後とも米山記念奨学委員会へのご支援ご協力を切にお願い申し上げます。



米山月間に寄せて



米山部門カウンセラー補佐 松下 光春

「なぜ留学生を支援するのか」

今後、日本の生きる道は平和しかありません。それを世界に理解してもらうためには多くの留学生を迎え入れ、信頼関係を築くことが日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕であると思います。

1952年に東京RCが奨学事業の構想を立案して以来50年以上の年月が流れました。その間、日本では民間で最大の奨学事業となっています。ますます重要性を増しています。留学生への支援は世界を結ぶ懸け橋となる尊い奉仕活動です。

「寄付金はどのように使われているか」

年間での奨学生採用数は現在800人、事業費は14.3億円、これまで支援してきた奨学生は世界で113の国と地域のおよび、累計で14,500人です。

日本全国のロータリアンからいただいた寄付金は、すべて奨学生のために使っています。ロータリー米山奨学会の財政は、96年をピークに寄付金は減少を続け、2005年4月からは奨学生採用数、奨学金額ともに縮減し、それ以後は特別金を取り崩さず、財政の健全化を図りながら、寄付金収入に見合った支援規模で運営しています。

寄付金については、普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。

・普通寄付金

日本の全ロータリアンがクラブを通じて定期的に戴く寄付。各クラブで会員1人当たりの金額を決定し、会員数分を半期に一度送金いただいています。

・特別寄付金

個人、法人又はクラブから普通寄付金以外に任意で戴く寄付。ロータリー関係者以外の一般個人、法人、団体からもお受けします。金額下限はありません。

寄付に対する表彰制度があります。

また、米山奨学会の寄付金については税法上の優遇措置が受けられます。

(詳しくは「豆辞典」を参照してください)

今後とも財団法人米山記念奨学会へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2008～2009 年度長期受け入れ学生への第1回オリエンテーション・歓迎会
2007～2008 年度長期派遣学生帰国報告会
2008～09 年度短期交換学生帰国報告会



青少年交換委員長 豊岡 敬

2640 地区は、本年度もアメリカ、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、インドネシアから5名の外国人学生を迎え入れることができました。また、1年間の海外生活を終えて、アメリカ、カナダ、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、フランスから6名の派遣学生達が元気に帰国しました。去る8月24日(日)に2008-09年度受入学生に対する第一回オリエンテーションと2007-08年度派遣学生の帰国報告会を開催致しました。本年度の受入学生は5名と少し寂しいのですが、それでも粒揃いです。地区のオリエンテーションでは受入学生に毎回スピーチを課しております。例年、第一回目のオリエンテーションでは未だ日本語が不自由なので英語でスピーチをする学生が多いのですが、本年度の受入学生は既に



母国で日本語の勉強を始めていたりして、全員が日本語でスピーチをしてくれました。それだけに、前向きな姿勢と、日本に対する関心の高さ、そしてロータリーの青少年交換プログラムに対する期待を感じました。

派遣学生の帰国報告会においては、毎年感じていることではありますが、一年間の海外生活を通じて皆逞しく一回りも二回りも大きく成長してくれました。

特に印象的だったことは、1年間海外で生活することによって、母国日本のこと、日本の魅力が見えてきたというスピーチを何人もの学生がしてくれたことでもあります。外から日本を見て、客観的に自分たちの立ち位置が解ってくるということは、国際理解という観点

から言っても大いに初期の目的を達成してくれているように思います。

青少年交換プログラムは、ロータリアンの子弟が参加できるプログラムで、国際理解と友愛の輪を広げるのと同時に新世代の育成を目的としたものであります。皆様のご息やお孫さん、そしてお知り合いのお子さんで海外派遣を希望される方のご推薦をお待ち申し上げますとともに、青少年交換に対するご理解とご協力をお願い致します。



〔財〕米山梅吉記念館 評議員会に出席して



〔財〕米山梅吉記念館評議員 米田 眞理子

20年8月23日「米山梅吉記念館」にて〔財〕米山梅吉記念館評議員会に出席いたしました。ご存じの方が多いと思いますが、米山梅吉記念館は、築39年の旧館と築10年の新館が有り、新館は静岡県東部の優れた建造物として知られています。会館の主な維持管理費用は、ロータリアンの寄付、特に第2620地区のロータリアンの皆様の浄財、全国年間一人100円募金や賛助会費等で賄われているとの会計報告に評議員として厳しい現状を痛感しております。

最近では移動例会や記念館訪問また一般の方々の来館が増えています。10月に改訂になる新公益法人法により、更に一般の方々への公開が求められます。今後も維持管理がいかに必要か説明を受け、100円募金の有用性を再認識いたしました。

我第2640地区では隔年に米山奨学生と米山カウンセラーが地区米山記念奨学委員会から観光バスで見学に来させていただき、米山梅吉翁の偉業を理解する上で、米山梅吉記念館での研修ならびに会館内説明は大変有意義だと常々実感しています。私は今回で5度目の訪問をさせていただきましたが、何度訪れても素晴らしく、その上スタッフの皆様が温かく迎えてくださいます。ここに来ると日本のロータリーの原点にふれる事が出来、自分自身のロータリー活動の原動力になっていると実感し、いつも心が豊かになって帰路に着きます。

お一人でも多くのロータリアンが「米山梅吉記念館」を訪問されるよう、今後ともご支援いただきますよう、心よりお願い申し上げます。



昨年秋に2640地区の米山奨学生と「米山梅吉記念館」を訪問した時

クラブ世界社会奉仕委員長会議を終えて

2008～2009 年度 地区世界社会奉仕委員長 中野 一郎

今年度より、地区世界社会奉仕委員長を仰せつかっております藤井寺RCの中野です。なにぶん新米委員長で只今、諸兄先輩方のご指導を戴きながら勉強中という事ですので皆様には頼りないかも知れませんが、ロータリーの寛容と友情の精神をもってお許しください。

9月21日に今年度のクラブ世界社会奉仕委員長会議が開催され3時間に及ぶ会議が皆様の協力のもと無事終えたことを報告致します。

当日は台風一過の秋晴れかと思いきや一転、急遽雷雨が激しくなり雷のせいで海外視察の報告映像がストップするというトラブルにも関わらず円滑にプログラムが進行出来たことに対し、参加戴きましたロータリアン全員に改めて感謝いたします。

本年度2640地区におけるWCS活動の重要項目はRIの強調事項と同じく水保全、保健衛生、飢餓問題、識字率向上(教育)を掲げていることは皆様すでにご周知だと思われま。会議の内容もこの問題に焦点を合わしたく構成いたしました。

まず、国際奉仕の全般的な事、世界社会奉仕の意義と概要、地区ファンドの説明、2007～2008年度WCS海外視察の報告、本年度WCS視察について、という流れでプログラムを進行させていただきました。

最初に、会議の開催にあたり勝野ガバナーより参加者全員の国際意識を高めるべく「しっかり勉強しましょう」とのご挨拶をいただきました。

つづいて、PDG, DGE, DGN, AG, 地区幹事の紹介を代表幹事の桃田様よりいただき、14時より本題へと進行いたしました。

まず、国際奉仕部門カウンセラーの小島パストガバナーより国際奉仕の全体的なこと、そしてWCS活動の重要性及び取り組み方、又問題点や以前おこったトラブル等のお話、説明が述べられました。小島PDG御自身の体験談も交えながらのユーモアセンス溢れるお話に対し、皆様が笑顔に包まれながらも真剣に聞き入っている姿が私には印象的でした。

つづいて私(中野)よりWCSの意義と概要そして補助金(2640地区WCSファンド)の説明をさせていただきました。この頃より会場の外では大雨が降り始め雷が鳴りだし、まるで私の心の中(大変緊張して泣きそうでした)を鏡に映しているように感じました。私がお話させていただいた内容を簡単に報告いたします。

- プロジェクトへの参加の意義およびその歴史
決議 29-12 の説明と財政的援助について等
- R I の強調事項について
世界の恵まれない人々の基本的ニーズ等
- 国内における社会奉仕と海外における社会奉仕のニーズの違い
日本の現在の豊かさと途上国、最貧国との惨状の理解を水、保健、飢餓、教育問題に焦点をあて比較説明等々
- 2640 地区内クラブの最近のW C S活動について
支援国や活動内容また支援クラブの紹介等
- 国際奉仕による寄付者と受領者の恩恵について
2640 地区がクラブ主導型の活動を推奨する理由は、すべての奉仕は個人から始まるアイ・サーヴが基本である。その最大の報酬は他文化への友情の橋渡しになるという個人的な満足感と考え、会員皆様の時間と才能をフルに発揮していただいてこそ得られるのでは？との内容等々
- 地区W C Sファンドの説明
補助金の申請書の記入方法、補助金額の説明等

10 分間の休憩をはさみ寺下地区委員より 2007～2008 年度W C S海外視察についての報告が記録ビデオの放映を交えおこなわれました。

地区では、会員の皆様やロータリーファミリーの方々に広く国際理解と平和親善そしてW C S活動の素晴らしさを体験していただきたく、ここ 3 年間支援国における海外視察の参加を呼びかけております。

平原ガバナー年度におきましては海南東R Cの協力を頂きフィリピン共和国セブ島へと5月15日～18日の4日間の視察日程にて地区内17クラブ43名の参加でフィリピンが抱えている様々な問題を視察、検証して参りました。

視察については、2640 地区の 9 クラブが支援された活動を主に廻り、その他今まさに、地域社会が直面している問題、そしてR I D3860 地区の社会奉仕活動等を検証し、参加者全員がさらに国際問題に理解を深められたのではないかと思います。視察記録については、DVD編集し全クラブへ 2 セット配布させていただきました。尚、当日欠席のクラブには後日ガバナー事務所より郵送させていただきたく段取りになっておりますので、楽しみにお待ちしております。

編集にあたりデータの協力をいただきました皆様、そして海南東R Cの皆様、3860 地区のロータリアン方々、誠に有り難うございました。

同じく、寺下委員より、本年度の海外視察予定の報告がございました。地区委員会では、当初タイ王国へとプランを進行する予定でしたが、ご承知の通り政情不安の問題があり暫らく様子を見て、との結論に至りました。委員会では他の国も検討のうえ、年末までには結論を出したいと考えています。

次に、汐崎委員より嬉しい報告がございました。

汐崎さんのホームクラブは新宮RCなのですが、先述の海外視察の際に 3860 地区のマクタンRCの奉仕事業に対しクラブよりWCS支援をされました。クラブからは事業の視察、検証ということで汐崎さんが先輩ロータリアンの瀬古様とお二人で視察旅行に参加されマクタンRCとの親睦を深めました。その結果この度、両クラブにおいて姉妹提携されるという報告です。事業が縁となり異国にたくさんの友ができる、まさにWCS活動の目的のひとつが成功した最高の事例だと思います。

質疑応答については、DDF(地区財団補助金)の利用方法についての質問があり、この件に関しては財団委員会との絡みもありますので、当日ガバナー補佐として出席されていた財団カウンセラー補佐の岩本様に返答戴きました。急遽ご指名させていただいたのですが、懇切丁寧に説明をして頂きまして誠に有り難うございました。

16 時より米田ガバナーノミニー、村上ガバナーエレクト、平原直前ガバナーの順で講評を頂戴しました。WCS 地区海外視察の体験談やご自身の国際社会問題への考え方、又今後の取り組み方等々の講評内容でした。平原直前ガバナーは、前年度WCS活動に非常に力を注いでくださり、又自ら実践されその大きなバトンを勝野ガバナーへエールとともに渡されました。

最終プログラムのガバナー講評では、平原直前ガバナーのバトンを引き継ぎその決意を語られた勝野ガバナーの熱い思いに拍手と共に閉会点鐘となりました。定刻通りクラブ世界社会委員長会議が、終了したことを報告いたします。皆様のご協力に感謝申し上げます。



ごあいさつ

国際ロータリー第2640地区
ガバナーエレクト 村上 有司

昨年6月末、田辺ロータリークラブから、RI2640地区2009～2010年度ガバナーの推挙を受けましたが、それから早や1年4ヶ月が過ぎようとしています。今年7月にはガバナーエレクトとなり、スタッフづくり・重要会議の日程策定と準備に追われる昨今です。近況を御報告し、御挨拶とします。

去る9月14・15日、横浜で第1回ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）が開かれ参加してきました。全国から集まった同期のガバナーエレクトらと親交を温め、研鑽に努めてきました。その中で、改めてロータリーの奥の深さに驚くと同時に、ロータリアンとしての誇りを再認識することが出来ました。11月中旬に開かれる第2回GETS（東京）を経て、新年1月18日～25日の米国カリフォルニア州・サンディエゴでの国際協議会で研修の仕上げとなります。真摯に勉学に取り組み、来るべきガバナー年度に遺漏のないよう備えたいと思っています。

公式事務所は、従前通り和歌山市内に置きますが、これとは別にスタッフが常駐出来る田辺事務所を設けることになりました。和歌山市と田辺市が遠距離であるため、代表幹事らから、「キメ細かく支援するためには是非必要」として強く要望されていたことによるものです。去る9月10日午前10時より、桃田現地区代表幹事や田辺周辺クラブの方々40数人の御臨席を得て事務所開きを行いました。地下（じげ）の蟻通神社の宮司さんによる神事で、無事大願成就を一同で祈念しました。この事務所を発信基地として、ロータリークラブの活性化に向かって、一石を投じられたらと心秘かに考えています。



開所式後、次期代表幹事・副代表幹事らといっしょに、田辺クラブの大先輩榎本長平（山長）さんの墓前に行ってきました。榎本さんは、20年前、田辺クラブが出した第1号ガバナーですが、それ以降田辺以南（紀南地方）からガバナーはなく、私が二人目となります。榎本さんは、平成10年11月に死亡され、今となっては体験談を伺ったり、御指導をいただくことが

出来ません。しかし、ガバナーとして、試行錯誤や困難に直面した時、大先輩のありし日のお姿を思い浮かべ心の支えにしていきたいと思います。これ迄の報告と今後の御慈悲を墓前でお願いしましたが、同席の御子息（田辺クラブ会員）と故人の御令室様も大変喜んでくれ、心晴れ晴れとする一刻でした。

ガバナーエレクトとして、11月初旬の“ガバナー補佐会議”を皮切りに、会長エレクト研修セミナー（PETS）、地区チーム研修セミナー、地区協議会等重要会議を順次開催することになります。来年度の各クラブリーダーの皆様方と、計画や方針について親しくお話をさせていただくこととなりますが、お目にかかれる日を今から楽しみにしています。

ロータリーは、今曲がり角に差しかかっているといわれます。皆様方と力を合わせて、各クラブや地区の発展に微力ながらも貢献したいと願っています。未長く御指導・御鞭撻をお願い申し上げます。

合掌



新入会員紹介

8 月



ゆみば かずふみ
弓場 一史

所属クラブ：羽曳野RC
職業分類：解体業
生年月日：1957年1月1日



うえだ たけし
上田 武

所属クラブ：泉大津RC
職業分類：ホテル
生年月日：1966年6月2日



にしお こうじ
西尾 浩司

所属クラブ：河内長野RC
職業分類：地方銀行
生年月日：1958年10月6日



かどや あつし
角屋 篤

所属クラブ：岸和田RC
職業分類：旅行業
生年月日：1961年8月8日



おおたに たかとし
大谷 孝利

所属クラブ：岸和田南RC
職業分類：建築工事
生年月日：1955年1月1日



たに かずき
谷 一樹

所属クラブ：串本RC
職業分類：水道工事
生年月日：1972年6月21日



たちばな みちのり
橘 道法

所属クラブ：松原中RC
職業分類：住宅販売
生年月日：1969年2月19日



よしかわ えみこ
吉川 恵三子

所属クラブ：りんくう泉佐野RC
職業分類：医療コンサルタント
生年月日：1955年3月21日



たにうち たろう
谷内 太郎

所属クラブ：堺西RC
職業分類：損害保険
生年月日：1968年9月23日



もり せいいち
森 誠一

所属クラブ：堺東南RC
職業分類：建築建具
生年月日：1939年7月22日



のなか よしのり
野中 喜則

所属クラブ：泉南RC
職業分類：料亭・割烹
生年月日：1948年10月20日



なかに しんや
中谷 伸家

所属クラブ：和歌山東南RC
職業分類：病院経営
生年月日：1937年12月24日

8 月



なかたに けいこ
中谷 敬子

所属クラブ：和歌山東南RC
職業分類：社会福祉士
生年月日：1943年4月26日



ふじなが だいすけ
藤永 大助

所属クラブ：和歌山東南RC
職業分類：旅行業
生年月日：1955年11月24日



なかね みきひろ
中根 幹浩

所属クラブ：新宮RC
職業分類：信用金庫
生年月日：1944年7月26日

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



おおおか まさはる
大岡 正治様 (海南RC)

2008年8月27日死去

在籍期間：46年

職業分類：ダンボール製造・販売

ポールハリスフェロー：

マルチプルポールハリスフェロー3回

米山功労者：マルチプル米山功労者

生年月日：1912年10月28日



なかにし おさむ
中西 脩様 (堺南RC)

2008年8月29日死去

在籍期間：39年

職業分類：合成ゴム製造

ポールハリスフェロー：マルチプル

米山功労者：マルチプル

生年月日：1917年7月26日



いなだ じょうじ
稲田 穰治様 (和歌山城南RC)

2008年8月28日死去

在籍期間：7年1ヶ月

職業分類：病院

ポールハリスフェロー：ポールハリスフェロー

米山功労者：功労者 ①

生年月日：1945年4月24日

PHF・ベネファクター（8月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
金谷 伊兵衛	3	有田南	久保 伸雄	1	岸和田南
山下 正晃	2	有田南	高木 功	1	那智勝浦
前 任		有田2000	池田 茂雄	3	堺北
木地 義和	2	海南東	北側 一雄	1	堺北
柳田 正子	BE	貝塚コスモス	三上 尚嘉	1	堺北
村部 幸雄	1	河内長野東	福岡 勇	1	忠岡
亀井 亮雄	BE	岸和田東	新井 康司	BE	田辺
岩出 正次	6	岸和田東	新井 康司	1	田辺
片山 智信	2	岸和田東	飯坂 忠久		富田林南
川植 康史		岸和田東	阪井 先行	3	富田林南
坂本 道子	1	岸和田東	糟谷 元春	1	和歌山東
嶼 光子		岸和田東	角谷 芳伸		和歌山東
徳山 清二		岸和田東	佐藤 正光		和歌山城南
夏原 晃子	2	岸和田東	岩内 寛之	BE	和歌山北
西村 良一	1	岸和田東	岡本 昭三	18	和歌山南
山口 英之	3	岸和田東	橋本 忠美	BE 3	和歌山南
芳谷 里佳		岸和田東	津川 善昭	BE	和歌山東南
渡辺 泰敏	2	岸和田東			

数字はマルチプルの回数 BEはベネファクター

米 山 功 労 者（8月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
忠岡 清	8	堺南	竹村 英一	2	田辺東
植田 芳史	5	田辺			



ハイライトよねやま 103号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

++ 今月のトピックス ++



2008年9月12日発行

1. 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —
2. 理事会・評議員会報告
3. 今年の米山月間はこれで決まり！ ～新しい事業紹介ビデオ完成
4. 訃報 米山記念奨学会理事 相澤 隆一氏（第2540地区）逝去

【お知らせ】まもなく、全クラブへ米山月間資料が届きます

文庫通信 (253号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より (3)

- ◎「ロータリーのサーヴィス・コンセプトについて考えよう」 松宮 2007 9p
(D.2500 地区大会報告書)
- ◎「ロータリーの心と原点を大切にしよう」 廣畑富雄 2006 10p
(D.2700 地区大会記録)
- ◎「ロータリーの原点」 成川守彦 2006 5p (D.2700 地区大会記録)
- ◎「教育という大業」 佐藤千壽 2008 12p (D.2670 地区大会記録)
- ◎「ロータリー財団活動の成果～世界平和への貢献(シンポジウム)」
内藤幸彦 2008 4p (D.2590 地区大会の記録特集号)
- ◎「CLPを理解しよう」 成川守彦 2007 5p (D.2670 IM報告書)
- ◎「ネパールの医療活動について」 伊藤公夫 2008 3p
(D.2540 地区大会記録)
- ◎「松枯れ防止活動」 那波宗久 2008 3p (D.2540 地区大会記録)
- ◎「ロータリーの初期の人々ー シェルドン・コリンズ・ベア・ラグルス・
デイビッドソン」 三木 明訳 2007 13p (D.2680 月信)
- ◎「五つの課題への協力(クラブ会長就任演説)」 ガイ・ガンディカー
田中 毅訳 - 4p (ロータリーの源流から)

[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

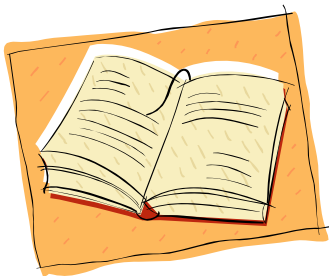
〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時

休館=土・日・祝祭日



第2640地区 出席報告 (2008年8月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	8月 出席率	平均 出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	8月 出席率	平均 出席率
	08.7.1	8月末	8月	累計	8月	累計					08.7.1	8月末	8月	累計	8月	累計			
有田	36	36	0	0	0	0	3	93.59	93.33	大阪金剛	29	30	0	1	0	0	3	87.08	85.68
有田南	33	33	0	0	0	0	3	98.85	98.39	大阪狭山	5	5	0	0	0	0	3	100	95.00
有田2000	16	16	0	0	0	0	3	79.17	79.17	りんくう泉佐野	27	28	1	2	0	1	3	77.38	76.41
藤井寺	12	12	0	0	0	0	3	63.80	80.16	堺	79	79	0	0	0	0	3	85.88	87.62
藤井寺しゅら	16	16	0	0	0	0	3	87.50	90.00	堺東	32	32	0	0	0	0	3	98.81	98.33
御坊	53	53	0	0	0	0	4	92.22	93.10	堺北西南西	19	19	0	0	0	0	3	78.42	80.07
御坊東	20	20	0	0	0	0	3	85.00	85.50	堺泉ヶ丘	20	20	0	0	0	0	3	98.33	97.50
御坊南	28	29	0	1	0	0	3	89.02	87.04	堺北	36	37	0	1	0	0	4	78.12	78.12
羽曳野	27	28	1	2	0	1	3	92.43	88.90	堺南	33	32	0	0	1	1	3	82.76	86.79
羽衣	22	22	0	0	0	0	3	95.45	92.60	堺中	26	27	0	1	0	0	3	68.00	70.50
阪南	13	13	0	0	0	0	3	100	99.23	堺西	22	23	1	1	0	0	3	80.39	80.82
橋本	54	55	0	1	0	0	3	91.33	93.48	堺おおいずみ	30	30	0	0	0	0	3	85.56	85.78
橋本紀ノ川	20	21	0	1	0	0	3	95.20	92.20	堺フェニクス	22	22	0	0	0	0	3	84.30	80.97
岩出	28	28	0	0	0	0	3	90.48	94.53	堺清陵	24	24	0	0	0	0	3	96.83	96.04
和泉	39	41	0	2	0	0	3	82.41	85.94	堺泉北	10	10	0	0	0	0	3	75.19	83.31
和泉南	33	33	0	0	0	0	3	61.62	64.90	堺東南	12	13	1	1	0	0	3	86.67	87.78
泉大津	50	51	1	1	0	0	4	80.33	82.38	泉南	18	19	1	1	0	0	4	88.05	86.88
泉佐野	37	38	0	1	0	0	3	87.10	86.56	新宮	57	57	0	1	0	1	3	86.04	87.38
海南	45	44	0	0	1	1	3	73.17	72.42	白浜	15	15	0	0	0	0	3	94.87	97.44
海南東	68	68	0	0	0	0	3	80.60	80.60	忠岡	13	13	0	0	0	0	3	66.64	66.37
海南西	22	22	0	0	0	0	3	86.66	87.87	太子	9	9	0	0	0	0	3	87.50	83.30
貝塚	19	19	0	0	0	0	3	92.59	92.41	高石	29	29	0	0	0	0	4	62.00	67.00
貝塚コスモス	21	21	0	0	0	0	3	85.71	84.52	高師浜	20	20	0	0	0	0	3	84.21	86.32
関西国際空港	32	32	0	0	0	0	5	65.59	66.99	田辺	87	87	0	0	0	0	2	92.91	91.12
河内長野	29	30	1	1	0	0	4	81.80	83.40	田辺はまゆう	36	38	0	2	0	0	3	77.19	79.24
河内長野東	27	28	0	1	0	0	3	90.48	90.96	田辺東	50	49	0	0	0	1	3	87.23	90.35
岸和田	51	50	1	1	2	2	3	78.59	78.02	富田林	34	34	0	0	0	0	3	83.33	83.17
岸和田東	54	54	0	0	0	0	4	93.05	92.27	富田林南	21	21	0	0	0	0	3	77.19	79.65
岸和田北	27	27	0	0	0	0	3	100	100	和歌山	75	75	0	1	1	1	3	85.13	86.24
岸和田南	21	22	1	1	0	0	3	96.97	94.67	和歌山アゼリア	42	43	0	1	0	0	3	86.04	85.61
粉河	19	19	0	0	0	0	3	94.44	96.11	和歌山東	55	56	0	1	0	0	3	99.29	99.43
高野山	22	23	0	1	0	0	4	97.50	96.88	和歌山城南	38	39	0	2	1	1	3	91.67	90.63
串本	9	10	1	2	1	1	3	70.00	76.00	和歌山北	49	49	0	0	0	0	3	72.23	73.80
松原	36	36	0	0	0	0	4	93.48	89.68	和歌山南	86	86	0	1	1	1	4	85.81	87.14
松原中	25	26	1	1	0	0	4	72.90	75.58	和歌山中	28	28	0	0	0	0	4	80.95	82.74
美原	26	25	0	0	1	1	4	80.50	84.60	和歌山西	22	22	0	0	0	0	3	95.45	95.45
那智勝浦	20	21	0	1	0	0	3	78.33	80.17	和歌山東南	37	40	3	3	0	0	3	92.98	90.58

クラブ	7月1日クラブ会員数				8月末クラブ会員数				8月平均 出席率	入会		退会	
	男性	2229	女性	128	男性	2251	女性	131		8月	累計	8月	累計
74	2357				2382				85.38	14	38	9	13

10月 職業奉仕月間・米山月間 (Vocational Service Month)

1日	(水)	公式訪問: 堺東・堺おおいずみRC(昼)	堺商工会議所
2日	(木)	公式訪問: 藤井寺・藤井寺しゅら・羽曳野・美原RC(夜)	道明寺天満宮
3日	(金)		
4日	(土)		
5日	(日)		
6日	(月)		
7日	(火)		
8日	(水)	藤井寺RC創立 35 周年記念式典	ナチュラルガーデン
9日	(木)	公式訪問: 太子・富田林・富田林南RC(夜)	すばるホール
10日	(金)	公式訪問: 串本・那智勝浦・新宮RC(夜)	新宮ユアアイホテル
11日	(土)		
12日	(日)		
13日	(月)		
14日	(火)		
15日	(水)	公式訪問: 和歌山中・和歌山東南RC(夜)	華月殿
16日	(木)	公式訪問: 和歌山城南・和歌山南RC(夜)	ホテルアバローム紀の国
17日	(金)		
18日	(土)	I.M.3 組	和歌山県民文化会館
19日	(日)	クラブ情報・規定委員長会議	テクスピア大阪4F
20日	(月)		
21日	(火)	公式訪問: 堺泉ヶ丘・堺中RC(夜)	サンパレス
22日	(水)		
23日	(木)	公式訪問: 羽衣・大阪金剛・高石・高師浜RC(夜)	サンルート関空
24日	(金)		
25日	(土)	堺おおいずみRC創立 24 周年記念例会 地区青少年ライラ委員会会議・ライラキーマン会議	リーガロイヤルホテル堺 ガバナー事務所
26日	(日)		
27日	(月)		
28日	(火)		
29日	(水)	公式訪問: 松原・松原中RC(夜)	松原商工会議所 5F
30日	(木)	公式訪問: 堺南・堺フェニックス・堺清陵RC(夜)	ホテル第一堺
31日	(金)		



国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 4 2 8 - 2 6 4 0

F A X (073) 4 2 8 - 2 6 4 3

E-m a i l info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

勤務時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 桃田 隆彦

事務職員 山本千恵子 平田有紀子